

# 東北厚生局の組織目標

## 東北厚生局のミッション:

厚生行政の政策実施機関として、常に実態の把握に努め、生活者の立場に立ち、信頼される存在となることを目指す。また、被災地の復興支援に努め、医療・介護提供体制の再構築に資する。

### 【平成26年度の組織目標】

	内容	推進する上での課題	備考
1	期限( — ) 数値目標( — ) 【東日本大震災への対応】 ・被災市町村の状況、課題等の把握を行い、厚生労働省への報告、連絡調整を行う。 ・災害復旧費補助金について適切な調査と速やかな執行を行う。 ・相双地域等における人材確保等について支援を行う。 ・被災3県の心のケアセンターと連携をとりながら、行政関係者などが安心して働ける環境整備の支援を行う。	・集めた情報の体系的な整理と共有 ・各地域震災復興計画の進捗状況 ・福島原子力発電所事故に関連する課題の対応	
2	期限( — ) 数値目標( — ) 【業務の適切な遂行】 ・各課事業計画において数値目標を設定し達成に努める。 ・国民の生活、暮らしに思いを馳せ、何のために、どのような目的を達成するために業務を行っているのか、常に、目的意識をもって、業務を遂行する姿勢を確立する。 ・常に、行政としてとった対応や判断を、国民にわかりやすく説明のできる説明責任の果たせる業務の遂行を行う。 ・国民と同じ高さの目線で業務を遂行する。		
3	期限( — ) 数値目標( — ) 【保険診療の適正化の推進】 ・平成26年度診療報酬改定や保険診療に係る留意点等を周知し、適正な保険診療(調剤)、保険請求の適正化に努める。 ・後発医薬品の使用促進を周知徹底し、利用率の向上を図る。 ・三師会及び関係団体と連携し保険請求の適正化に努める。	・指導医療官の確保 ・関係者への更なるPR	
4	期限( — ) 数値目標( — ) 【業務改善の推進】 ・事業計画に基づき業務を計画的に進めるとともに、点検・評価による改善を適切に行う。 ・コスト削減のために両面コピーを推進し、カラーコピーを原則禁止とする。 ・各種説明・研修会参加者へアンケートを行うなどの事後評価を行い、常に改善を図る仕組みをつくる。	・職員の意識改革	
5	期限( — ) 数値目標( — ) 【職員の能力向上と自己研鑽】 ・職員の各種能力向上のため研修会等を行うとともに、外部機関主催の研修会等への積極的な参加を推進する。 ・研修会には、専門的な知識を有する外部講師を起用できるよう工夫して充実を図る。	・職員が参加する研修テーマの選定	
6	期限( — ) 数値目標( — ) 【ワークライフバランスの実現】 ・指定休暇・節休みの導入による年次休暇取得の促進(前年度比5%)や定時退庁の推進等による超過勤務時間の削減(前年度比5%)を通じて職員の健康の維持、推進、公務の能率的な運営を図る。 ・また、男性の育児休暇取得促進を図る。		
7	期限( — ) 数値目標( — ) 【国民にわかりやすい情報提供の推進】 ・各種規制の特例措置及び制度の変更について関係団体等と協力の上、周知等を図る。 ・ホームページへは利用者にとって知りたい情報をタイムリーに掲載し、利用者の立場に立った情報を提供する。 ・各種説明会等では、図や表を多用するなど参加者が理解しやすいような説明を行うことを心掛ける。		

(注1) 内容は数値目標などいつまでに何をするか具体的かつ明確に記載すること。

(注2) 期限は必ず記載し、数値目標は設定した場合に記載すること。

### 【職員の能力向上のための取り組み】

	内容	備考
人材育成・組織活性化	・風通しのいい組織づくりに取り組み、明るく楽しい職場づくりを進める。 ・職員による現場視察等の実施及び所管外業務を共有するための研修会を開催し、職員一人一人が厚生行政に精通できる人材を育成する。 ・研修会には、専門的な知識を有する外部講師を起用できるよう工夫して充実を図る。(再掲) ・幹部会を開催し、局内の情報共有を推進し、組織の活性化を図る。	
実態把握能力	・各種説明会等を通じて各種関係団体等と意見交換を行うなどにより、現地の実態を的確に把握する。	
新政策企画・立案能力	・政策立案能力の向上を図るため、各種研修会等への積極的な参加を促す。	
政策検証能力	・市町村向けの説明会やセミナーの開催等を通じた意見交換を行う。 ・事業計画に基づき業務を計画的に進めるとともに、点検・評価による改善を適切に行う。(再掲)	
コミュニケーション能力	・会議等において、係員等が積極的に発言出来るような環境を作るよう研修などを通じ、職員のコミュニケーション能力の向上を図る。	
コスト意識	・執務室内の照明については、昼の休憩時間のみならず不要箇所の消灯を徹底し、また夏季・冬季はクールビズ・ウォームビズの周知により電力使用の抑制に努める。 ・コピー単価の周知によりコスト意識の向上を図るとともに、両面コピー、白黒コピーの促進を図る。	
業務改善能力	・東北厚生局に寄せられる「国民の皆様の声」について、担当職員間で情報の共有を行うとともに、分析や検討を行い業務の改善を図る。 ・国民の生活、暮らしに思いを馳せ、何のために、どのような目的を達成するために業務を行っているのか、常に、目的意識をもって、業務を遂行する姿勢を確立する。(再掲)	
リスク対応能力	・ホームページにおいて、常に分かりやすい情報発信に努めつつ、公表資料については速やかに掲載する。 ・情報開示請求について適切な対応を行う。	

(注1) それぞれの能力向上のための取り組みについて、いつまでに何をを行うのか具体的に記載してください。

(注2) 組織目標の欄に記載した内容が上記に該当する場合には、(再掲)と付して記載してください。